

様式例 12 指定管理者制度活用事業 総括評価シート

指定管理者制度活用事業 総括評価シート

評価年月日：平成 29 年 7 月 12 日

評価者：川崎市指定管理者選定評価委員会

1. 業務概要

施設名	東海道かわさき宿交流館
指定期間	平成 25 年 9 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日 ※開館は平成 25 年 10 月 1 日
業務の概要	<p>■事業に関する業務</p> <p>東海道川崎宿に関する歴史・民俗等の資料の展示、情報の収集及び提供、東海道川崎宿に関する活動の支援、企画展示、その他施設の目的を達成するために必要な事業など</p> <p>■施設の運営に関する業務</p> <p>受付、案内など</p> <p>■施設等の維持管理に関する業務</p> <p>施設等の保守管理、備品等管理、修繕、施設等の保安警備、清掃・環境衛生など</p> <p>■その他施設の管理運営のために必要な業務</p> <p>総務・経理、広報・宣伝、利用者意見等の把握、運営に協力するボランティア等の人材の育成、各種統計等資料作成及び調査の回答、自動販売機の設置及び管理、物品販売に関する業務など</p>
指定管理者	<p>名称：川崎市文化財団・川崎市観光協会グループ</p> <p>代表者：公益財団法人 川崎市文化財団 理事長 多田昭彦</p> <p>住所：川崎市川崎区駅前本町 1 2 番地 1 電話：044-222-8821</p>
所管課	川崎区役所 まちづくり推進部 地域振興課（内線：61351）

2. 「評価の視点」に基づく事業期間全体の評価

	評価項目	事業実施状況等
1	市民や利用者に十分な量及び質のサービスを提供できたか。	<p>集会室利用について、プロジェクター、マイクなどの無料貸出し、また寄席を開催するための備品一式を備えるなど、利用者の利便性に配慮し、柔軟かつきめ細やかなサービスが十分に提供されていた。また、館内展示については、小学生向けの学習素材や聴覚障害者向けの音声情報機器シートの作成など、多様なニーズに応え、快適に利用しやすい環境作りに努めていた。</p>
2	当初の事業目的を達成することができたか。	<p>1 事業目的</p> <p>東海道川崎宿に関する歴史、民俗等の資料の展示を行うとともに、市民相互の交流を推進し、もって市民の文化の振興に寄与することを目的としている。</p> <p>2 達成状況</p> <p>目的に沿って実施された各取組により、館の魅力が高まり、事業目的を達成したと判断できる。</p> <p>(1) 東海道川崎宿に関する歴史、民俗等の資料展示</p> <p>「かわさき歴史ガイド協会」による解説により展示への理解が深まり、その親切丁寧な対応はアンケートでも高い評価を得た。企画展示については、仕様書で求めた年 4 回を超える回数を毎年開催し、寄贈を受けた「昭和の店先」、「東海道浮世絵展」など多種多様な企画展示を開催した。</p> <p>(2) 市民相互の交流</p> <p>集会室の利用を通じて市民相互の交流が図られるよう、備品の無料貸出しなど利用しやすい環境を整えたことで、利用率も初年度の 33.0% から平成 28 年度は 45.</p>

		<p>8%へと上昇した。</p> <p>(3) 文化イベントなどの実施</p> <p>狂言、幫間などの日本特有の伝統文化イベントである「江戸時代の粋に遊ぶ」を年4回、街道をテーマとした講演を年3回、さらには落語や講談などの文化イベントを定期開催したことで市民の文化振興に大きく寄与した。</p> <p>(4) その他</p> <p>地域住民などから構成される運営委員会を定期的を開催し、出された意見を運営に生かすなど地域に根付いた運営が評価され、平成26年12月には「かながわ観光大賞グランプリ」を受賞した。</p>
3	特に安全・安心の面で問題はなかったか。	<p>消防計画に基づき年2回の消防訓練を実施した。また救命救急訓練を受講するなど、危機管理に対しては、高い意識をもっている。</p> <p>開館から事故などはなく、日頃から危険防止の意識をもち、棚の固定や物の放置などしないよう安全・安心な施設管理に努められていた。</p>
4	更なるサービス向上のために、どういった課題や改善策があるか。	<p>2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、外国人も含めあらゆる人が楽しめる展示や対応が求められるなか、引き続き、アンケートなどの戦略的活用などにより、魅力的な展示や文化イベントの開催により来館者の満足度を上げていくことを期待するとともに、インバウンドを意識したイベント、物販のセレクトなどを期待したい。</p> <p>また、東海道川崎宿に係る活動団体などへの支援を積極的に実施することで、既存団体の活性化や新たな担い手を育み、東海道川崎宿全体の賑わいの創出につなげることを期待したい。</p>
5	非公募更新のための条件を満たしているか (該当施設のみ)	非該当

3. これまでの事業に対する検証

	検証項目	検証結果
1	所管課による適切なマネジメントは行われたか。	<p>所管課は、指定管理者からの事業報告書（月次、年間）を精査し、報告に基づく管理運営状況の確認を行い、必要に応じて業務改善や効率化の指示を適切に行った。</p> <p>また、定期的なモニタリングを行い、施設の維持管理を把握・確認した。</p>
2	制度活用による効果はあったか。	<p>直営時に要する費用試算 59,649 千円（収入 2,820 千円-人件費 27,135 千円-事業費 3,267 千円-管理運営費 32,067 千円）に対して、H28 年度は 34,043 千円（指定管理料 38,870 千円-余剰金 4,827 千円）で運営しており、25,606 千円のコスト効果を生み出している。また、利用者満足度においても96%の利用者が「満足」と回答しているなど、指定管理者制度による効果は明らかであるといえる。</p>
3	当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか	<p>現在、展示機器のメンテナンスを指定管理者、展示機器の改修及び新規展示製作（H29 年度予算 580 万円）については、本市が行っている。メンテナンスと改修は一元的かつ計画的に行うべきで、また、新規展示製作についても、歴史に精通した職員がいる指定管理者が行うことで、より専門的かつ利用者ニーズに応えた内容の展示が期待でき、展示改修及び新規製作業務について、指定管理業務に含むことが望ましい。</p>
4	指定管理者制度以外の制度を活用する余地はないか	<p>平成28年度のアンケートによると来場者のうち 96%が「満足」もしくは「ほぼ満足」と回答していることから、十分なサービスは提供できており、施設の維持管理も適切に行われている。また、経費のコスト効果も大きく、引き続き指定管理制度の活用が適当であると考えられる。</p>

4. 今後の事業運営方針について

開館以後、専門職員の知識や経験豊富な職員による人脈・企画力を最大限活用し、工夫を凝らした企画展示やイベントなどを開催してきた。また、適切かつ効率的な施設管理に努め、直営時試算費用約 60,000 千円を大きく下回る約 34,000 千円で運営が実現されており、その費用対効果は明らかである。

また、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、インバウンド効果による外国人誘客を意識した事業提案や、外国人も含めあらゆる人が楽しめる企画、又、東海道川崎宿全体の賑わい形成につながるような活動団体などへの支援について、新たな手法や発想による提案をさせることも重要である。

こうしたことから、東海道かわさき宿交流館の更なる発展を目指す上では、今後も現在の指定管理者制度を継続して導入することが妥当である。